

宿舎の太陽熱温水システム

台南園區の第一期、第二期単身者用宿舎（華園）では、長年の使用によって劣化の進んでいた6つのガス給湯システムに代えて導入した太陽熱温水システムが6月28日に完成。これは集熱器で太陽熱を集めて沸かした熱水を専用ポンプで宿舎全体に循環させるもので、ガス代の節約につながるだけでなく、省エネ・低炭素にも貢献します。



■ 5T太陽熱温水システムの蓄熱槽と省エネ型ポンプを宿舎に設置(2013.06.28)

汚水処理場の太陽光発電システム設置工事が完了

政府のグリーンエネルギー推進政策に基づき、高雄園區では汚水処理場内の管理センター、ポンプステーション、汚泥処理室、調整池、一次沈殿池の5ヶ所に計235.68kWpの発電能力を有する太陽光発電システムを導入しました。9月30日には設置工事が完了して運用を開始。汚水処理場の電気代を削減することができました。



■ 汚水処理場に太陽光発電システムを設置(2013.09.30)



■ 台南園區自転車専用道の第二期工事が竣工(2013.12.25)

台南園區にサイクリングロードを整備

南科では近年、自転車専用道の拡充に努めています。これまで取り組んできた通勤用自転車道の整備に続き、12月25日には「台南園區サイクリングロード」の整備が完了しました。遊水池公園や緑地帯、生態保護区などを結んで台南園區を一周する約13キロのサイクリングロードには通勤用自転車道とのネットワーク図や標識、地図を設置し、サイクリストの便宜を図っています。

街灯のLED化

高雄園區では今後3-5年以内に現在街灯に使われている高圧ナトリウムランプをLED電球に交換していくことになっています。これは省エネ・低炭素推進のほか、従来の街灯による光害をなくして生き物の棲みやすい環境にすることを目指した取り組みで、2013年には433の街灯をLED化しました。



■ 高雄園區のLED街灯